

西暦 2021年 5月 28日

第二外科に通院中あるいは通院されたことがある患者さんまたは第二外科で実施した研究に参加された患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当診療科では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療または過去に実施した研究及び治療で得られた試料及び情報（以下、臨床情報という。）を用いて行います。

この掲示によるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨床情報の利用停止のほか、この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、「⑤ お問い合わせ先」へご連絡ください。

研究名：右肺葉切除後における残存中葉切除の検討

研究実施期間： 倫理審査委員会承認日 ～ 西暦2023年3月 31日

山形大学医学部倫理審査委員会承認番号：2021-85号

（承認日 西暦2021年5月28日）

① 対象となる患者さん（研究の目的、臨床情報の利用目的及び利用方法）

近年、肺切除後の再手術は世界的に近年増加しています。しかし、再手術は難易度が高く、特に残存中葉切除において、その術式に関するまとまった報告はほとんどありません。

今後、その難易度にかかわらず残存中葉切除が標準治療になる可能性があり、その周術期成績と認容性について調べます。

研究対象者は1998年11月から2021年4月までに当院で肺葉切除後に残存中葉切除術を受けた患者さんといたします。研究の成果は学会、および論文で発表し、公表する予定です。

② 利用する臨床情報

すでに撮影されている、治療上必要であったCTを後方視的に、腫瘍径、局在などを測定します。また入院時および在院中の治療内容や合併症の有無など経過に関わる情報を利用します。

※患者さん個人が特定できる情報は研究には利用しません。また、研究データ上にも残りませんので、本研究から患者さんの個人情報が出ることはありません。なお、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が漏出することはありませんので、患者さ

んに危険や不利益が生じることはありません。

③ 誰が使用するか(研究実施施設及び責任者(利用する者の範囲、臨床情報の管理責任者))

研究実施機関の名称：山形大学医学部附属病院 外科学第二講座

研究責任者：大泉 弘幸

利用する者の範囲

氏名：高森聡 所属機関：山形大学医学部附属病院 外科学第二講座 職名：病院助教

氏名：鈴木潤 所属機関：山形大学医学部附属病院 外科学第二講座 職名：助教

氏名：鈴木克幸 所属機関：山形大学医学部附属病院 外科学第二講座 職名：助教

氏名：渡辺光 所属機関：山形大学医学部附属病院 外科学第二講座 職名：病院助教

氏名：佐藤開仁 所属機関：山形大学医学部附属病院 外科学第二講座 職名：病院助教

④ 研究への利用をやめてほしい場合

患者さんはいつでも、この研究にあなた自身の臨床情報を使用しないよう求めることができます。臨床情報の使用を認めなかったとしても、患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方より、下記の連絡先までお問い合わせください。

ただし、使用停止を求めた時点で、研究結果が論文などで公開されていた場合には、完全に臨床情報の使用を停止できないことがあります。

⑤ 問い合わせ先

臨床情報利用の停止、そのほか質問したいことなどがありましたら、下記の担当者までご連絡ください。

山形大学医学部附属病院 外科学第二講座

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2

連絡先：TEL 023-628-5342 Fax 023-628-5345

E-mail：:s-takamori@med.id.yamagata-u.ac.jp

担当者：高森 聡